

# 活動報告 全国学校給食週間 1/24～30

## 学校給食の役割などを考える機会！

全国学校給食週間関連事業として、1/24 市役所 11 階食堂で、この日に南部調理場で提供されたものと同じ献立の給食が、1食 500 円で提供されました。先着 60 人まで。

メニューは、ごはん、牛乳、ひきずり、一宮の厚焼き玉子、きゅうりの昆布和え、愛知のみかんゼリー、ココアパウダー。量は中学生の給食の量です。食堂前の通路には調理器具や食器など展示され、市民が熱心に見ていました。



←真空二重食缶  
天ぷらパット、柄杓



### ＜給食を食べた市民の声＞

ご飯の量はまあまあの量ですが、メインのおかずは男子中学生にはやや足りないかも？子どもたちが食べている給食を食べることができてよかった。器具の展示などはよかったと思います。

## 学校給食の始まり (市ホームページより)

明治 22 年山形県鶴岡町（現在は鶴岡市）にある小学校で、家庭が貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために無料で食事を提供したことからいわれています。

その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争による食料不足で中止することが決まりました。

戦後、栄養失調の子どもたちを救うために、外国からの援助で給食が再開されました。昭和 21 年 12 月 24 日に新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みに入ってしまうため、1 か月後の 1 月 24 日からの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることが決まりました。

## 学校給食は教育の一環

学校給食は教育活動の一環として実施されます。身体的、精神的にも急速に成長する大切な時期に、栄養バランスのとれた学校給食を通して、食育の推進をめざしていくことが求められます。



## 一宮の学校給食

### ●一宮地区 センター方式（共同調理場方式）

\*南部調理場（一宮市北小渕） 約 13,300 食 平成 28, 10

- ・小学校（18 校、約 8,700 食） 大志・向山・西成・赤見・浅野・丹陽・丹陽西・丹陽南・大和東・大和西・萩原・中島・千秋・千秋南・富士・西成東・大和南・大和東
- ・中学校（8 校、約 4,600 食） 南部・西成・丹陽・大和・萩原・千秋・西成東部・大和南

\*北部調理場（一宮市浅井町） 約 13,400 食

- ・小学校（14 校、約 8,900 食） 宮西・貴船・神山・葉栗・瀬部・浅井南・浅井北・北方・今伊勢・奥・末広・今伊勢西・葉栗北・浅井中
- ・中学校（7 校、約 4,500 食） 北部・中部・葉栗・浅井・今伊勢・奥

### ●尾西(小7・中3)、木曾川(小3・中1)地区 自校方式（単独調理場方式）

## 今後の学校給食

市は、平成 31 年 老朽化した一宮地区の 2 か所の共同調理場を 3 か所整備する基本計画を策定しました。1 場目、2 場目は各 8,500 食（新たに整備する）、3 場目は（既存の共同調理場跡地に整備する）約 6,000 食。

1 場目（浅井町）は 2024 年度供用開始の予定、2028 年度に調理場全て供用開始する予定。1 場目の事業手法を PFI 方式で行う方針を市の幹部会で決めています。

尾西・木曾川地区の調理場方式の検討は、一宮地区の整備の目途がある程度経った段階で検討する予定。

基本計画は基本構想（29,3 月策定）の具体化です。そのパブリックコメントでは、371 人・799 件の意見があり、多くは自校方式を求めるものでした。

## 自校方式の優位性

各学校に調理施設があり調理員がいて、給食の時間が近づくと調理室からいい匂いがしてくる。毎日の生活の中の人との営みの中で、子どもたちの豊かな情操や安心感がはぐくまれてくる、食育の基本。地域の業者から食材等を購入することで地域の活性化につながる。

配送時間が短縮でき献立内容が豊かになる。食中毒発生時、最小限の被害ですむ。緊急時の食事の提供が可能になる。など



一宮市の将来を担う子どもたちにどんな学校給食を提供するのか、今を生きる大人たちの責任として、保護者・市民の声を反映させて事業を進めてほしいと思います。



南部調理場

## わたなべさとしの活動報告

1月19日、一宮中央プラザにて、安倍改憲NO!一宮市民アクションによる、学習会が行われ、その後パレード、毎月の19日集会と午後一杯を使つての学びとアピールの機会となりました。

学習会では、名古屋大学名誉教授の森英樹さんが、「どうなる9条、どうする9条」と題し、講演され、100人の参加者が学びました。時折笑いも挟みながらの講演で、よくわかったと大好評でした。内容を少し紹介させていただきます。



## 行き詰まる安倍政治

- ・「桜を見る会」・カジノ汚職・公職選挙法違反の疑いなど法律違反、政治の私物化の問題
  - ・外交問題(拉致・日韓・対米対中貿易・米国要求・北方領土)の行き詰まり
  - ・見通しのない経済問題(アベノミクス・一億総活躍社会・働き方改革・女性活躍社会)
- ⇒外交・経済・国家運営どれをとっても何一つうまくいっていない。

## 憲法改正だけは声高に

- ・1/1 首相年頭所感、1/6 首相記者会見、1/7 仕事始め総裁挨拶、1/26 施政方針演説
- ⇒どの機会でも「憲法改正」だけは言い続ける異常
- ・年頭の米イランの緊張(1/3 米軍イランの司令官殺害)の中、1/7の仕事始め挨拶でも中東には触れず、8日に海上自衛隊の中東派兵を決定し、11日から実施。出動根拠も全体未聞。
- ⇒改憲の狙いが9条にある事を再確認

## 安倍9条改憲の危険性

- ・憲法9条に「自衛のための組織として自衛隊を保持する」というような文言を書き加える(加憲)が検討されている。
- ⇒「現状の9条は変えないよ」とアピール出来、実質を変えるやり方。

## 歴史は繰り返す？政変はどうなる？

- ・ネズミ年、五輪、世界大戦などの機会に日本では政変が起きていることが紹介され、今年はネズミ年で五輪があり、年頭に世界大戦の危機があった等これまでの政変と符合するタイミングが2020年であると閑話休題的に紹介されました。

## ずっと、「1945年から戦後」と言える日本に

- ・日本は朝鮮戦・ベトナム戦・湾岸戦・アフガン戦のどれにも日本の米軍基地が出撃拠点となり、実際は関わってきたが、自衛隊が戦争に関わることは無かった。
- ⇒それが1945年以降が「戦後」と呼ばれる所以。これからも戦争させない「9条日本」の維持を！

学習会の後、中央プラザから「戦争する国 ぜったいイヤだ!」「中東戦争 ぜったい止めよう!」などのコールを行いながら、一宮駅までパレードしました。



安倍政権による改憲発議を止め、2020年を政変する年にする必要を改めて感じる学習会でした。

外交・経済・国家運営のすべてが行き詰まり、国民生活を苦しめています。平和・権利としての人権が保障される、日本国憲法が守られる日本を目指します。

(わたなべさとし)